

関東鉄道創立 100 周年記念

## 復刻デザインバスを導入

5月中旬より水戸地区・守谷地区・土浦地区にて運行開始

1965年6月合併前、前身会社のカラー2種、

合併後、関東鉄道誕生直後のカラー1種



左から鹿島参宮鉄道、  
常総筑波鉄道、  
関東鉄道の復刻デザイン  
バス

関東鉄道株式会社(本社：茨城県土浦市 代表取締役社長：松上英一郎)は、2023年5月中旬より、路線バス旧カラーの復刻デザインバスを運行いたします。昨年9月、当社が創立100周年を迎えた記念事業の一環で実施するものです。

復刻デザインは、1965年6月、当社合併前の鹿島参宮鉄道株式会社、常総筑波鉄道株式会社、当社合併後の関東鉄道株式会社のデザインの計3種類です。

現在、運行開始に向け準備を進めております。各復刻デザイン車両は水戸・守谷・土浦地区の路線バスに導入し、各営業エリアを運行する予定です。

本企画の詳細は次の通りです

### 記

1. 運行開始日 2023年5月中旬ごろ
2. 車両数 3両 (鹿島参宮鉄道・常総筑波鉄道・関東鉄道初期 各1両)
3. 導入営業所  
①鹿島参宮鉄道 ……水戸営業所(水戸・石岡地区を運行)  
②常総筑波鉄道 ……守谷営業所(守谷・取手地区を運行)  
③関東鉄道(初期) ……土浦営業所(土浦・つくば地区を運行)

#### 4. 復刻デザインバス車両 概要

※写真はイメージで実際の車両とは異なります。

##### ①鹿島参宮鉄道(1965年頃まで運行)



1965年まで鹿島参宮鉄道で運行していたデザインです。ブルーグレーに青色のラインでベース色は現在のデザインにも踏襲されています。

##### ②常総筑波鉄道(1965年頃まで運行)



1965年まで常総筑波鉄道で運行していたデザインです。ベージュ地に赤色のラインで関東鉄道へ合併後も一部はそのまま使用されていました。

##### ③関東鉄道(1965年～1970年代頃まで運行)



1965年に関東鉄道へ社名を変更した当初は、鹿島参宮鉄道をベースとしたデザインに車体下部と上部の一部に常総筑波鉄道の赤色を配色し両社のデザインを掛け合わせた車両が存在しておりました。一部を変更しながら路線バスは現在までデザインが踏襲されています。

以上